

2021年6月23日

横浜ゴム・「YOKOHAMA まごころ基金」が ファシリテッドッグ・プログラムを推進する「シャイン・オン・キッズ」を継続支援

横浜ゴム（株）の従業員による社会貢献基金「YOKOHAMA まごころ基金」は 2021 年 6 月、小児がんや重い病気と闘う子どもたちとその家族を支援する特定非営利活動法人「シャイン・オン・キッズ」へ活動支援金として 30 万円を寄付しました。横浜ゴムはマッチングギフト[※]として支援金と同額を寄付し、支援合計金額は 60 万円となります。同団体には、2019 年にも支援を行い今回が 2 回目の支援となります。

「シャイン・オン・キッズ」は、2010 年から医療スタッフとともに治療の一環として行う動物介在療法「ファシリテッドッグ・プログラム」を日本で初めて展開しています。同プログラムはストレスを抱えた人々に愛情と安らぎを与えるよう専門的に育成されたファシリテッドッグを医療機関へ派遣し、子どもたちと触れ合ったり、検査・手術に付き添うことで子どもたちに勇気を与え、入院・治療に対する姿勢を前向きにすることを目的としています。現在、静岡県立こども病院で活動しているファシリテッドッグのヨギが 10 歳を迎え、新たなファシリテッドッグ・チームに活動を引継ぎます。今回の支援金は後任であるタイへの引継ぎに必要な費用の一部に充てられます。

「YOKOHAMA まごころ基金」は、寄付を希望する従業員が会員となり給与から毎月 1 口 100 円を天引きして積み立て、集まった資金を環境保全や人権擁護などに取り組む NPO、NGO などへの資金援助や重大な災害への義援金として拠出することを目的に 2016 年 5 月に設立されました。横浜ゴムはマッチングギフトとして同基金支援額と同額を寄付する仕組みとなっています。

横浜ゴムでは、今年 2 月に新中期経営計画「Yokohama Transformation 2023（YX2023）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロ・ニサン）を策定しました。ESG 経営においては「未来への思いやり」をスローガンとして掲げており、事業活動を通じた社会課題への貢献を進めていきます。

※：従業員などが社会貢献を目的とした寄付や義援金を拠出した際に、企業がその寄付金に一定額、または同額を上乗せして寄付金を拠出する仕組み。



ファシリテッドッグのヨギ（右）とタイ

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570